

◆正誤表

平成22年10月1日

頁	訂正箇所	誤	正
17	3.1 誰が使うのか	住宅設計者や住宅供給者、 住宅購入者 、自治体、	住宅設計者や住宅供給者、自治体、
39	表2.2 採点項目	1.1.1 断熱・ 気密 性能の確保	1.1.1 断熱性能の確保
43	表2.5 CASBEE戸建-新築の評価項目一覧 LRH2 小項目	2.2 生産段階(構造躯体用以外の 部)	2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)
46	解説 レベル5	熱損失係数以下 であることとする 。	熱損失係数以下であることとする。
51	解説 レベル3 ①	レベル3以上の 住宅 においては、	レベル3以上の住宅においては、
54	1.エアコン 暖房能力の選択 4行目	レベル3以上の 住宅 においては、	レベル3以上の住宅においては、
71	評価内容	崩壊等の しにくさ より評価する。	崩壊等のしにくさにより評価する。
72	日本住宅性能表示基準の表 等級2, 3, 4	火 炎 を遮る時間が	火熱を遮る時間が
73	評価レベル レベル3, 4, 5	感知警報装置設置等級(自 住宅 火災時)	感知警報装置設置等級(自住戸火災時)
73	解説 1行目および表題	感知警報装置設置等級(自 住宅 火災時)	感知警報装置設置等級(自住戸火災時)
75	その2.電気幹線容量計画 a)	電気・ガス併用住宅の場合、「内線規程3605-1」に基づいた負荷以上の想定を行って電気幹線容量を設計している。「 内線規程3605-1 」による負荷の 計算方法 により、	電気・ガス併用住宅の場合、「内線規程3605-1」に基づいた負荷以上の想定を行って電気幹線容量を設計している。
81	(参考2) 7行目	住宅の規模に 関するもの で、	住宅の規模に関するものなので、
95	評価内容	居住周辺地域 への防災性・防犯性を	周辺地域の防災性・防犯性を
95	評価レベル レベル3	評価する取組み1~4のうち、 何れの手法も採用していない 。	レベル4を満たさない。
95	評価レベル レベル4, 5	評価する取組み 1~4 のうち、	評価する取組み1~6のうち
97	評価レベル レベル4	何れか 1つ 取組んでいる。	何れか1つに取組んでいる。
97	評価レベル レベル5	何れか 2つ以上 の取組んでいる。	何れか2つ以上に取組んでいる。
107	レベル5【暖房設備が「LRH1.2.1.2 冷房設備」で評価したものと異なる場合】	再生可能な植物由来の 材料 を使用している暖房	再生可能な植物由来の材料を燃料として使用している暖房
116	語句の説明【節湯型機器】	いずれかの種類にあてはまるもの。	いずれかの種類にあてはまるものを節湯型機器としている。
118	解説 2段落目	あるいは多段階評価 結果 で2点が1点と採点されるが、	あるいは多段階評価の結果が採点表に示す基準を満たせば2点が1点と採点されるが、
128	レベル3の取組み例 3行目	設備性能を維持することによりエネルギー消費効率を狙うことができる 。	エネルギー消費効率など設備の性能を維持することができる。
150	【評価対象外】	加工のみの場合は、 対象外 とする。	加工のみの場合

◆正誤表

平成22年10月1日

頁	訂正箇所	誤	正
153	解説 4行目	ただし、リサイクルに関する技術開発や	リサイクルに関する技術開発や
158	評価内容	樹木・緑地の保全、郷土種の採用等、	樹木・緑地の保全、自生種の採用等、
159	2)表土の保全 1行目	養分を含む表 I は、	養分を含む表土は、
164	評価レベル レベル5	何れか2つ以上の取組んでいる。	何れか2つ以上に取組んでいる。
奥付	発行 電話番号	03-322-0357	03-3222-0537